

インターネットの長所・短所の理解【整理する】座標軸

【校種・学年】小学校第5学年

【教科・領域】社会科

【実践の概要】

1 単元名 4 暮らしを支える情報

2 単元の目標

緊急時の情報の伝え～やニュース番組づくりを例に、情報産業やメディアの役割について調べ、情報が自分たちの生活に大きな影響を及ぼしていることを捉える。

3 本時の実際

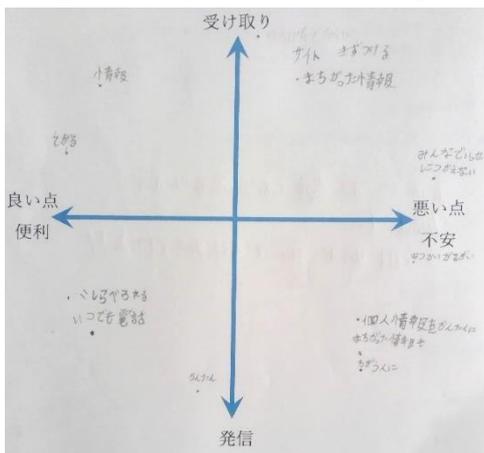
(1) 本時の目標

インターネットの利用に伴う不安な点について調べ、利用の際に気を付けなければいけないことについて考え、自分の言葉で表現できるようにする。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○前時の振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> インターネットが広がる社会では、どのようなことに気を付ければよいだろう。 </div> ・実体験をもとにインターネットの利用について振り返り、交流をする。(ペア交流)	
展開	○教科書の資料から読み取ったことを、座標軸を用いてインターネットの「良い点、悪い点」、「受信、発信」の軸をもとに整理する。(個人思考) ○座標軸見せあいながら、それぞれの考えを話し合う。(ペア交流) ○交流から得た情報をもとに考えを整理し、気を付けなければいけない点を考える。(個人思考)	視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○全体で交流し、インターネットを利用する際に大切な点についてまとめる ○振り返り	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

- 児童は、初めて思考ツールとして座標軸を活用したが、容易に使用し、考えを整理することができた。
- 座標軸に自分の考えを整理することで、インターネットを利用するには良い点よりも悪い点が多くみられることがわかり、改善点を考える必要性が高まった。
- 軸を「受信、発信」としたがインターネットは相互性が強いので、はっきりと分けることができないものもあった。軸の項目については、授業のねらいや活動によって吟味する必要がある。